



平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月12日
東

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所
コード番号 8254 URL <http://www.saikaya.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 岡本 洋三
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 井瀬 聡 (TEL) 046 (845) 6803
四半期報告書提出予定日 平成28年7月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成29年2月期第1四半期の連結業績 (平成28年3月1日～平成28年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	5,323	△42.6	△9	—	△49	—	△46	—
28年2月期第1四半期	9,279	2.8	390	220.9	361	537.0	255	510.1

(注) 包括利益 29年2月期第1四半期 △33百万円(—%) 28年2月期第1四半期 254百万円(649.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	△1.49	—
28年2月期第1四半期	8.17	6.13

(注) 平成29年2月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第1四半期	13,647	1,834	13.4
28年2月期	13,792	1,861	13.5

(参考) 自己資本 29年2月期第1四半期 1,834百万円 28年2月期 1,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	—	—	0.00	0.00
29年2月期	—	—	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想 (平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	11,535	△23.6	100	△72.3	40	△89.0	20	0.64
通期	23,390	△11.6	260	△34.0	130	△60.6	110	3.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期1Q	31,353,142株	28年2月期	31,353,142株
② 期末自己株式数	29年2月期1Q	140,653株	28年2月期	140,243株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期1Q	31,212,652株	28年2月期1Q	31,216,039株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は平成28年7月12日付で終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 連結売上高の内訳	10
(2) 店別売上高(単体)	10
(3) 商品別売上高(単体)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年3月1日～平成28年5月31日)におけるわが国経済は、個人消費については、消費者マインドに足踏みがみられるなか、概ね横ばいとなっておりますが、政府の経済政策や日銀の金融緩和策を背景に企業収益や雇用情勢は改善傾向にあり、総じてみれば景気は緩やかな回復基調が続いています。しかしながら、海外経済で弱さが見られており、中国経済をはじめとした、アジア新興国や資源国等の景気の下振れなど、わが国景気を下押しするリスクもあります。また、こうしたなかで、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある状況にあります。

百貨店業界におきましては、主力の衣料品が低迷するなか、雑貨の売上につきましては、平成27年4月より14ヶ月連続で前年同月比プラスを確保するなど、一部好調な商品もありますが、これまで都市部を中心に百貨店売上で底上げしてきたインバウンドの客単価が下落し、時計や宝飾品などの高額品の販売にも陰りが生じております。

このような状況の下、当社におきましては、最終年度を迎える中期経営計画に基づき、「百貨店事業の強化」、「関連事業および新規事業への取り組み」、「財務体質の強化」、「人材育成の強化と組織風土の改革」の4つの主要課題に対応するための施策実行に全社を挙げて取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における営業の状況につきましては、期初の3月より、気温が総じて低かったことから、春物衣料が振るわず、その後の4月、5月につきましても、厳しい状況が続いております。

このような経営環境のなか、当第1四半期連結累計期間において実施した営業施策といたしましては、百貨店事業の強化のため、藤沢店におきまして、婦人服のニューショップ「ローレンラルフローレン」を4月にオープンし、横須賀店におきましても、地元三崎のマグロ漬けの名店「羽床総本店」のニューショップを5月にオープンし、ともにご好評を頂いております。また、川崎店におきましても昨年6月のオープン以来、ギフトや学生服を中心に計画を上回るご注文を頂いており、このたび売場面積を拡張致しました。

このほか、関連事業や新規事業に取り組む今後の展開に備えて、このたび事業目的の追加を行ないました。また、人材育成や組織風土改革の観点からは、考課者訓練等の人材育成に関する投資を行なうとともに、女性や若手社員の登用を積極的に行ない、全社一丸となって当社グループの成長を推進する組織風土の醸成に取り組んでおります。

一方、ローコストオペレーションを更に推進するため、各種経費の削減に努めるとともに、費用配分の見直しを含めた効果的な経費運用に取り組みました。

以上のような施策を積極的に展開いたしました。主力である衣料品の不振等により当第1四半期累計期間の売上高は目標に到達せず、かつ、3月に竣工いたしました藤沢店耐震工事に係る費用を計上した為、まことに遺憾ではございますが、営業損失の計上にいたしました。また、前年対比で大幅減収となった主要因としましては、前年同四半期におきまして、旧川崎店の閉店セールを展開していたことによるものであります。この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は5,323百万円(前年同四半期比57.4%)、営業損失9百万円(前年同四半期は営業利益390百万円)、経常損失49百万円(前年同四半期は経常利益361百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失46百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益255百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産については13,647百万円となり、前連結会計年度末に比べ144百万円減少しました。これは主に、借入金の返済等による現金及び預金の減少等によるものです。負債については、前連結会計年度末に比べて117百万円減少し11,813百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べて26百万円減少し1,834百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ300百万円減少し1,031百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、88百万円の収入(前年同四半期比316百万円の収入の減少)となりました。主な増加項目は、仕入債務の増加額193百万円等であり、主な減少項目は、税金等調整前四半期純損失50百万円及び売上債権の増加額49百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、244百万円の支出（前年同四半期比153百万円の支出の増加）となりました。主な減少項目は、長期前払費用の取得による支出213百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、144百万円の支出（前年同四半期比24百万円の支出の増加）となりました。主な減少項目は、長期借入金の返済による支出114百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、平成28年4月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を、横須賀店を除き定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,332,291	1,031,973
売掛金	498,392	548,168
商品	838,413	840,351
貯蔵品	33,859	33,232
その他	270,740	358,783
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	2,973,688	2,812,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,797,040	3,581,247
土地	4,828,822	4,828,822
リース資産(純額)	103,168	168,441
その他(純額)	27,255	26,478
有形固定資産合計	7,756,287	8,604,990
無形固定資産		
その他	75,443	69,493
無形固定資産合計	75,443	69,493
投資その他の資産		
投資有価証券	389,103	406,479
敷金及び保証金	1,645,716	1,644,716
破産更生債権等	14,883	14,187
長期前払費用	888,455	46,331
その他	61,970	61,970
貸倒引当金	△13,490	△13,160
投資その他の資産合計	2,986,638	2,160,525
固定資産合計	10,818,370	10,835,009
資産合計	13,792,058	13,647,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	38,416	41,218
買掛金	1,662,328	1,853,407
1年内返済予定の長期借入金	473,430	367,530
未払法人税等	3,372	5,438
商品券	895,831	845,017
賞与引当金	16,310	36,716
商品券回収損引当金	631,107	635,789
ポイント引当金	43,673	50,925
その他	790,757	687,777
流動負債合計	4,555,225	4,523,818
固定負債		
長期借入金	6,120,129	6,111,789
繰延税金負債	187,775	181,948
退職給付に係る負債	386,210	372,240
資産除去債務	222,836	144,302
リース債務	207,718	232,945
その他	251,140	246,279
固定負債合計	7,375,811	7,289,506
負債合計	11,931,037	11,813,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,945,290	1,945,290
資本剰余金	1,637,078	1,637,078
利益剰余金	△1,736,731	△1,776,861
自己株式	△42,398	△42,425
株主資本合計	1,803,239	1,763,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,780	71,099
その他の包括利益累計額合計	57,780	71,099
純資産合計	1,861,020	1,834,182
負債純資産合計	13,792,058	13,647,507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
売上高	9,279,970	5,323,573
売上原価	7,332,702	4,174,648
売上総利益	1,947,268	1,148,925
販売費及び一般管理費	1,556,316	1,157,984
営業利益又は営業損失(△)	390,951	△9,058
営業外収益		
受取利息及び配当金	222	310
受取手数料	1,465	669
貸倒引当金戻入額	-	278
保険解約返戻金	13,292	-
その他	2,031	2,030
営業外収益合計	17,012	3,288
営業外費用		
支払利息	37,827	35,905
商品券等整理損	8,286	6,789
その他	553	1,086
営業外費用合計	46,667	43,782
経常利益又は経常損失(△)	361,296	△49,552
特別損失		
固定資産除却損	5,022	621
店舗閉鎖損失	12,612	-
特別損失合計	17,634	621
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	343,661	△50,173
法人税、住民税及び事業税	92,750	△308
法人税等調整額	△4,093	△3,440
法人税等合計	88,656	△3,749
四半期純利益又は四半期純損失(△)	255,004	△46,424
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	255,004	△46,424

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	255,004	△46,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△784	13,319
その他の包括利益合計	△784	13,319
四半期包括利益	254,220	△33,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,220	△33,105
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	343,661	△50,173
減価償却費	161,978	94,618
貸倒引当金の増減額(△は減少)	110	△330
商品券回収損引当金の増減額(△は減少)	△6,630	4,682
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,161	20,406
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△324	△13,970
ポイント引当金の増減額(△は減少)	4,529	7,252
受取利息及び受取配当金	△222	△310
支払利息	37,827	35,905
店舗閉鎖損失	12,612	-
固定資産除却損	5,022	621
売上債権の増減額(△は増加)	△517,931	△49,775
たな卸資産の増減額(△は増加)	299,206	△1,309
仕入債務の増減額(△は減少)	798,379	193,881
その他	△418,137	△111,929
小計	723,242	129,567
利息及び配当金の受取額	112	303
利息の支払額	△58,311	△38,223
法人税等の支払額	△259,886	△3,205
営業活動によるキャッシュ・フロー	405,157	88,441
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△83,954	△30,470
無形固定資産の取得による支出	△995	△160
投資有価証券の取得による支出	△149	△149
差入保証金の回収による収入	9,500	-
長期前払費用の取得による支出	△46,628	△213,548
その他	31,233	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,993	△244,328
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	234,166	-
長期借入金の返済による支出	△329,466	△114,240
リース債務の返済による支出	△24,647	△30,164
その他	△135	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120,083	△144,431
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	194,081	△300,318
現金及び現金同等物の期首残高	2,866,029	1,332,291
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,060,110	1,031,973

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)

当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)

当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

4. 補足情報

(1) 連結売上高の内訳

	前第1四半期 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)		当第1四半期 (自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	9,271,272	97.1	5,315,065	96.4	△3,956,206	57.3
アルファトレンド㈱	269,460	2.8	196,007	3.5	△73,453	72.7
㈱さいか屋友の会	3,984	0.1	3,462	0.1	△522	86.9
小計	9,544,718	100.0	5,514,535	100.0	△4,030,182	57.8
内部売上高の消去	△264,747	—	△190,961	—	73,786	72.1
合計	9,279,970	—	5,323,573	—	△3,956,396	57.4

(2) 店別売上高(単体)

	前第1四半期 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)		当第1四半期 (自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
藤沢店	3,161,058	34.6	2,927,345	56.1	△233,712	92.6
横須賀店	2,143,730	23.5	2,035,883	39.1	△107,847	95.0
川崎店	3,625,376	39.7	213,356	4.1	△3,412,020	5.9
町田ジョルナ	186,882	2.1	36,727	0.7	△150,155	19.7
本社	7,129	0.1	—	—	△7,129	—
小計	9,124,177	100.0	5,213,312	100.0	△3,910,864	57.1
テナント及び手数料収入	147,094	—	101,752	—	△45,341	69.2
合計	9,271,272	—	5,315,065	—	△3,956,206	57.3

(3) 商品別売上高(単体)

	前第1四半期 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)		当第1四半期 (自 平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)		前年対比・増減	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
衣料品	2,700,748	29.6	1,657,314	31.8	△1,043,434	61.4
身回品	1,117,019	12.3	523,019	10.0	△594,000	46.8
雑貨	1,626,593	17.8	909,504	17.5	△717,089	55.9
家庭用品	372,258	4.1	161,974	3.1	△210,284	43.5
食料品	2,611,552	28.6	1,668,431	32.0	△943,120	63.9
食堂・喫茶	319,307	3.5	131,971	2.5	△187,335	41.3
その他	376,697	4.1	161,097	3.1	△215,600	42.8
合計	9,124,177	100.0	5,213,312	100.0	△3,910,864	57.1

外商扱高	2,206,671	24.2	2,063,473	39.6
------	-----------	------	-----------	------